

英 作 文

SUBJECT: E-MAIL

–Writing Effective Messages–

大学生のEメール英作文

by

Yuichi Kurokawa



NAN'UN-DO

SUBJECT: E-MAIL

—Writing Effective Messages—

by

Yuichi Kurokawa

©2002 All Rights Reserved

【リスニング・スピーキングの力がつく】

SUBJECT: E-MAIL

—Writing Effective Messages—

大学生のEメール英作文

カセットテープ

(全1巻)

収録箇所

各UnitのSample Mailと状況1～5の例文

まえがき

英作文と和文英訳はどこが違うのでしょうか？ 同じだと思っはいませんか？ 英作文は「英語で作文すること」。日本語を通さなくても英語の作文は出来るはずですから、翻訳の必要は必ずしもないはず。しかも、日本語と英語は全く異なる二つの言語ですから、翻訳しづらいことがよくあります。ただでさえ易しくはない「外国語での作文」に面倒な「翻訳」という要素まで加わっては、英作文が難しく見えるのは当たり前です。

また、英作文の授業では一つ一つの文を作文させることに時間のほとんどを割く傾向があります。確かに、それが作文の基本ではあるでしょう。しかし、作文の究極的な目的はなんのでしょうか？ それは、他者とのコミュニケーションです。相手に対して伝えたいことをきちんと伝えることです。従って、大学レベルの英作文の教科書はこれを助けることに奉仕する必要があります。

以上2点の問題意識から、以下のような特色を持ったテキストをまとめてみました。

- (1) 本テキストは「はじめまして」「ありがとう」など、学生が遭遇しそうな場面・トピック別の22章からなっており、各章の例文は状況別に5つにまとめられています。
- (2) 上記の5つの状況をつなげると（一部の例外を除き）起承転結のあるメールが書き出しから締めくくりまで書けるように構成されています。

例えば、第一章「はじめまして」は「切り出しの簡単なあいさつをする」「『会えてうれしい』と伝える」「『自己紹介させてください』と切り出す」「名前とあだ名」「締めくくりのあいさつをする」という5つの状況が列挙され、それぞれに例文が複数提示されています。これは、「この状況ではこういう言い回しをよく使う」と翻訳を経ずに英語のままつかむことを助けることを意図してのものです。更に、これらの5つの状況に挙げてある例文を結びつけるとメールを一通書き上げられるようになっています。例えば、次のような具合です。

Hi. My friend Yuki gave me your name and e-mail address.

I've heard a lot of good things about you.

Let me introduce myself since this is my first time mailing you.

My real name is Akihisa, but people call me Aki.

I hope we stay in touch.

ここまで書ければ、あとは友達や自分の名前を変えるだけ。それほど難しくはないですよ？ もちろん、ゆくゆくはもっと自在に作文できるようになることを目指すべ

きです。しかし、このように模倣から入った方が初めのうちは効率がいいですし、実際にネイティブが使っている言い回しに従うわけですから無用な誤解の可能性も低いのです。

このテキストを存分に生かして、みなさんが世界中の人たちとメールでつながっていかれることを願っています。

黒川 裕一

◆◆◆ CONTENTS ◆◆◆

まえがき	3
Unit 1	JUST CALL ME KEN (はじめまして)	7
Unit 2	MY PLEASURE (ありがとうございます・どういたしまして)	12
Unit 3	WELL DONE! (おめでとうございます)	17
Unit 4	FEELING BETTER? (大丈夫ですか?)	22
Unit 5	WHAT A SHAME! (お気の毒です)	27
Unit 6	HI, STRANGER (久しぶりです・お元気でしたか?)	32
Unit 7	PLEASE COME ALONG (遊びに来ませんか・行きませんか)	37
Unit 8	SOMETHING'S COME UP (予定を変更します)	42
Unit 9	I'D LOVE TO! (通知を受け取りました・確認しました)	47
Unit 10	FANTASTIC! (楽しかったですね)	52
Unit 11	I'M REALLY UPSET! (頭にきた!)	57
Unit 12	IT'S ALL MY FAULT (ごめんなさい・誤解です)	62
Unit 13	DO ME A FAVOR? (頼みがあります)	67

Unit 14	HOW ABOUT A DISCOUNT? (買物をする・問い合わせる)	72
Unit 15	BON VOYAGE (旅行の予約をする・問い合わせる)	77
Unit 16	I WAS WONDERING... (質問があります)	82
Unit 17	IF YOU ASK ME... (私はこう思います)	87
Unit 18	ANY ADVICE? (アドバイスをお願いします)	92
Unit 19	WHAT SHOULD I DO? (学校への問い合わせ)	97
Unit 20	HELP! (学校内でのトラブルを報告する)	102
Unit 21	I'M YOUR MAN (仕事を探す)	107
Unit 22	KEEP IN TOUCH (さよなら・また会いましょう)	112

JUST CALL ME KEN

(はじめまして)

< SAMPLE MAIL >

Subject: Hi

Hi,

This is Shu.

It was nice meeting you in the chat room last night.

I had a great time.

I still remember your joke about Bill Clinton.

It really cracked me up.

My real name is Shuhei, but people call me Shu.

Let me tell you a little about myself.

I'm in my first year at Heisei University, majoring in journalism.

I hope we can keep in touch.

Take care,

Shu

Notes

had a great time は「素晴らしいときを過ごした（とても楽しかった）」の決まり文句。had a good time とも。 **crack me up** は「私を大笑いさせた（それほどおかしかった）」。= make me laugh

< USEFUL EXPRESSIONS >

状況1 切り出しの簡単なあいさつをする

- Hi. My friend Yuki gave me your name and e-mail address.
- Hi. I saw your name and e-mail address on a bulletin board.
- Hello. This is my first time mailing you.
- Hello. I hope you don't mind me sending you this message all of a sudden.

注 ネット上の掲示板は、一般的な「掲示板」と同じく a bulletin board で OK。
all of a sudden = out of the blue 「突然に」。

状況2 「会えてうれしい」と伝える

- It's a great pleasure to meet you.
- I'm very happy to meet you.
- I'm so glad to meet you, John.
- I've heard a lot of good things about you.

注 It's ~ to... の形では、他にも様々な形容詞が使えます。例えば、nice や good など。

状況3 「自己紹介させてください」と切り出す

- Let me briefly introduce myself.
- Please allow me to introduce myself.
- Let me introduce myself since this is my first time mailing you.
- Let me introduce myself first so you will have a better idea of who I am.

注 you will have a better idea of who I am は「私がどういう者か、よりはっきりとあなたに分かるように」という感じ。

状況4 名前とあだ名

- Hi. I'm Tomomi.
- My real name is Akihisa, but people call me Aki.
- My name is Kentaro, but you can call me Ken if you like.
- My name is Shinjiro, but Ted is the name that I go by.

注 if you like は「もしよろしければ」にあたる決まり文句。~ is the name that I go by は「私は~ (という名前) で通っている」にあたる慣用表現。go by は日本語の「通る」と同じ語感。

状況5 締めくくりのあいさつをする

- I hope we stay in touch.
- Please mail me back whenever you can.
- I'd be very happy if you could mail me back.
- I hope to hear from you soon.

⑧ whenever you can で「出来るときにいつでも」。I'd be very happy if ~ は「もし~ならばとてもうれしいです」と言うときの決まり文句。

● EXERCISE 1

状況1, 2の例文を生かしてかっこ内を並べ替え、「はじめまして」のメールを切り出してみよう

1. 突然のメール恐縮です。友人の Yoshio からあなたの名前とメールアドレスをもらいました。

Hello. I hope you (me, message, don't, you, sending, this, mind) all of a sudden. My friend Yoshio gave (your name, e-mail, me, address, and).

2. はじめてメールを差し上げます。掲示板であなたの名前とメールアドレスを見ました。

Hello. This is (you, my, first, mailing, time). (your name, I, and, e-mail, saw, address) on a bulletin board.

3. 昨日は電話で話せて楽しかったです。あなたと知り合えてうれしいです。

Hello. It was (phone, nice, talking, to, on, the, you) yesterday. It's great to (know, get, you, to).

● COMPOSITION

この章で学んだ表現を使って、以下の要素を盛り込んだ「はじめまして」のメールを書いてみよう。

- ❖ 自分の名前
- ❖ 自分のあだ名
- ❖ 「自己紹介をさせてください」という断り書き
- ❖ 自分の学校、学年、専攻
- ❖ 締めくくりのあいさつ

RULE & POINT

RULE : 不定詞と動名詞

初対面の人に会ったときの決まり文句と言えば、Nice to meet you.ところが、挨拶を交わしてその人とさよならする際には It was nice meeting you. とするのが一般的です。この違いは不定詞と動名詞の性質の違いから来ています。**不定詞は(近)未来、動名詞は現在もしくは(すぐ前の)過去** Nice to meet you. は「あなたにお会いできることがうれしい」、It was nice meeting you. は「あなたにお会いできたことがうれしい」とニュアンスにずれがあることを確認してください。

POINT : 学年・専攻

学年を言うときには序数詞もしくは固有の名詞を使います。

I'm in my first year at Edo University.

This is my second year at Muromachi University.

I'm a freshman at Kamakura University.

Notes freshman は一年生、sophomore は二年生、junior は三年生、senior は四年生。

専攻を言うときには major を使うのが一般的。これは「専攻」という名詞にも「専攻している」という動詞にもなり、どちらでも頻用されます。

I'm an English major.

I'm majoring in French.

I'm a freshman at Heian University, majoring in economics.